

世界が今 この男を強烈に求めている
陶芸家・河井寛次郎、魂の記録。

何と今
今こそ永遠
河井寛次郎

製作 主催 一般社団法人 日米芸術振興協会
語り 井浦新
監督 佐藤憲正
助監督 糸谷緋呂子
プロデューサー 佐藤太紀
エグゼクティブプロデューサー 天野静子、依田
製作協力 オフィス天野、NHKエンタープライズ
2026年 日本 カラー 65分

《没後60年・民藝誕生100年》ドキュメンタリー映画&トークショー
『何と今だ今こそ永遠 河井寛次郎』

2026年 7月21日〔火〕

会場 京都市京セラ美術館 講演室(地下1階)

上映 10:30 - 13:30 - 16:30 各回30分前より入場受付開始

対談 ミッシェル・バンブリング (NYジャズ・インサマイ・ディレクター)

鷺 珠江 河井寛次郎記念館(宇治)

申し込み方法 電話予約(先着順、定員各回100名)

日米芸術振興協会・03-3469-0077

河井寛次郎記念館・075-561-3585

支払い方法 一般3000円、大学生以下・障害者1500円

DOCUMENTARY FILM
KAWAI KANJIRŌ:
THE ETERNAL NOW

暮らしが仕事、仕事暮らし

敗戦、絶望——激動の時代にさらされながらも、決して“今”を見失わず、暮らしの中の美を追い求め続けた男
民藝誕生100年、没後60年で初めてとなる
河井寛次郎、魂の記録映画。

2026年3月、ニューヨークの一角に“京都”が現れた。NY ジャパン・ソサエティ・ギャラリーで3か月にわたり開催された「河井寛次郎 House to House」展である。陶芸家、彫刻家、建築家、詩人、文筆家——河井寛次郎(1890-1966)は、その類まれな才能によって20世紀日本の美と文化を牽引し、今へと続く民藝運動を大きく推し進めた、日本の“美”を体現する存在だ。今回、京都から海を渡った130点を超える傑作が、アメリカ・ニューヨークで初めて公開された。

いま、日本には多くのアメリカ人をはじめ、世界各国から人々が訪れている。しかし、この国独特の文化や価値観を深く理解することは、決して容易ではない。本展には、寛次郎の作品とその生涯を見つめることで、日本文化の真髄に近づき、その理解を深めたいと願う世界の人々の思いが映し出されている。

「何といふ今だ 今こそ永遠 河井寛次郎」は、この歴史的な展覧会の舞台裏を追いながら、これまであまり語られてこなかった寛次郎と京都との関係、そして未来へ託した思いに迫る。世界大戦という激動の時代にさらされながらも、“今”という瞬間に命を燃やし、「暮らしの中」の美を追い求め続けた寛次郎。そのまなざしは、同じく揺れ動く時代を生きる私たちにも深く問いかける。陶芸家・河井寛次郎の魂を記録した、初のドキュメンタリー映画である。



KAWAI KANJIRO: THE ETERNAL NOW



井浦 新 (俳優/本作ナレーション)
俳優として、映画やドラマなど多数の作品に出演。民藝に興味を持ち、河井寛次郎記念館を訪れさらに寛次郎の作品に魅了される。その後、NHK「日曜美術館」の司会を務め、河井の番組も収録。美術文化のジャンルでも活躍著しい。



鷺 珠江
(河井寛次郎記念館学芸員/本作監修)
京都市生まれ。河井寛次郎の一人娘・須也子の三女として生まれる。同志社大文学部卒業後、河井寛次郎記念館学芸員として勤務。祖父・寛次郎にまつわる展覧会の企画、監修や出版、講演会、資料保存などにも携わる。



ミッシェル・バンブリング
(ジャパン・ソサエティ・ギャラリーディレクター/本作出演)

日本美術を専門とする美術史家、キュレーター。2024年2月より、NYジャパン・ソサエティ・ギャラリーの上級部長を務め、日本美術の国際的な紹介や展覧会企画に30年以上の経験を持つ。

河井寛次郎 明治23(1890)年8月24日島根県安来に生まれる。松江中学校卒業ののち、東京高等工業学校窯業科に入学。大正3(1914)年、京都陶磁器試験所に入所。大正9(1920)年、現在の記念館の地、五条坂に住居と窯を持ち独立、つねと結婚。大正13年には娘・須也子をもうける。大正10(1921)年、「第一回創作陶磁展」を開催、以降生涯にわたり、作品を発表。作風は大きく、三期に分けられる。中国古陶磁を範とした初期、「用の美」の中期、「造形」の後期。昭和12(1937)年に、自らの設計により自宅を建築(現在の記念館)。昭和41(1966)年11月18日、76歳で亡くなる。

ドキュメンタリー映画&トークショー『何といふ今だ 今こそ永遠 河井寛次郎』

2026年7月21日[火] 会場:京都市京セラ美術館 講演室(地下1階)
京都市左京区岡崎円勝寺町124 / Tel.075-771-4334

上映&トーク:①10:30~12:20 | ②13:30~15:20 | ③16:30~18:20 ©30分前より入場受付開始

入場料:一般 3000円 大学生以下・障害者 1500円 定員:各回100名(先着順)

申し込み方法:電話予約

日米芸術振興協会:03-3469-0077
河井寛次郎記念館:075-561-3585

会場への
交通アクセス
地図



製作:一般社団法人 日米芸術振興協会
日・米、そして世界との架け橋として、文化・芸術・教育分野の自主事業を行い、各地の地域資源をリサーチ・映像化し、多様な教育・文化コンテンツの制作・発信を行う。



交通案内

◎[電車]地下鉄東西線「東山駅」から徒歩8分/京阪電車「三条駅」から徒歩16分

◎[市バス]「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ/「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ